

Brush Up Letter

神戸大学医学部附属病院

D&N plus ブラッシュアップセンター

〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-2 TEL 078-382-5266
E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

2013年5月～6月の主な活動

全体		
5月	15日	秋田大学 総合地域医療講座 男女共同参画講義 視察
6月	20日	ワークライフバランス 第1回ワーキング
	27日	第1回 運営委員会
医師		
5月	全9日	研修医ミーティング 収録
6月	1日	兵庫県女性医師の会 フォーラム 参加
	全8日	研修医ミーティング 収録
看護師		
6月	6日	キャリアカフェ 打ち合わせ
	29日	ママナース会

2013年7月～8月の主な予定

全体		
7月	18日	ワークライフバランス 第2回ワーキング
医師		
7月	1日	育児・介護復職者支援 短時間勤務医員 2013年10月採用者公募
	1～18日	感染症集中セミナー 収録
	4日	第2回 ママドクカフェ
	全4日	研修医ミーティング 収録
	11日	大リーガー医プロジェクト 神経内科編 収録
8月	全6日	研修医ミーティング 収録
看護師		
		随時対応



秋田では5月でもまだ桜が楽しめます。

〔5/15〕秋田大学男女共同参画講義 参加報告



秋田大学医学部総合地域医療講座男女共同参画講義に、検査部河野先生に随伴して参加してきました。

平成25年5月15日8:50～17:30まで丸1日かけて、医学部3年生を対象の男女共同参画講義を受講しました。

とてもタイトなスケジュール。9名の講師

による男女共同参画の講義と学生たちのグループワーク。ランチタイムにはランチョンミーティング+医学部内施設見学（地域社会連携事業により新設されたスキルスラボ。）広い構内に参加された他大学の先生方や説明して下さる先生とはぐれないようにと気を配りつつ大変な一日を過ごしました。

演題は解剖学男性医師が話す「女性医師支援の総論」、外科の男性医師からは「医師の日常」。子育て期ママドクターからは「なりたい自分をめざしてみる」等。それぞれの方が現状の立場で、経験を基にしたお話をユーモアを交えながらも現実の厳しさと仕事のやりがい、子育ての楽しさや子育てから得られるものを分かりやすく話されました。

学生のグループワークでは今時の学生の男女の平等意識や、まだ未知なる社会への期待を感じ、学生であるこの時期に、男女ともに働きながら家庭人としての役割を果たしていくことの意識付けはとても大切なことだと思いました。

「できる」の反対語は「できない」ではなく「しない」ということ、まず諦めるのではなく気持ちがわくわくするものを見つけ、それに向かって進めば頑張れること、何か希少価値を自分にちよつとずつ加えることが支えになることが印象に残っています。多様性を認め尊重し合えるそんな医師に育ってくれるようにとの願いを受け留めた今回の出張でした。



グループワークの様子

〔7/4〕第2回ママドクカフェ開催

「育自（育児）期のやる気、根気。私のモチベーション」
日時：平成25年7月4日（木）12:00～13:00
場所：第1病棟2階 共通カンファレンス室
講演：パルモア病院 小児科副院長 大東寧代先生（20分）
講演の後、グループディスカッション（20分）
まとめ（15分）

参加申込 受付中

- ・30名軽食付（先着順） 申込締切：6/28（金）
- ・当日参加OK（各自昼食をご持参ください）
- ・託児サービス実施 申込締切：6/21（金）

ポスター等でもご案内していますが、いよいよ7月4日、第2回ママドクカフェを開催します。当日のご参加も歓迎です。（その場合は各自昼食をご持参ください）。医師、研修医、医学部生、医学研究科大学院生の皆さま、男女問わず、是非、ご参加ください。

育児・介護復職者支援短時間勤務医員制度 利用者の声

D&N plus ブラッシュアップセンターの「育児・介護復職者支援短時間勤務医員制度」を利用して復職され、キャリアを重ねられている医師よりコメントをいただきました。本制度の利用が、次のステップへのきっかけになれたことをうれしく思います。

また、来月7月1日には「育児・介護復職者支援短時間勤務医員」の公募を開始します（10月採用）。詳しくは、当センターまでお問い合わせください。ご応募をお待ちしています。

育児・介護復職者支援短時間勤務医員制度（概要）

- 対象者
 - ・産前産後休暇中・育児休業中、介護休業中、もしくは出産・育児、介護により離職した神戸大学医学部附属病院に関連する医師（ただし、神戸大学医学部附属病院診療科長等の推薦を受けた者）
 - ・本制度による復職が、次に向けてのステップアップと捉えることができる医師
- 勤務について
 - 勤務時間：1週間あたり20～25時間の範囲内
 - 休日：土・日・祝日 当直・残業免除

7月1日 公募開始

栄養管理部（糖尿病・内分泌内科） 特命助教 高橋路子先生



2011年4月 時短医員採用
2012年4月 医学研究員
2013年4月から特命助教

私は卒業後内科医として臨床研修を受け、5年目で第1子を出産、すぐに主人のアメリカ留学に随伴して研究や病院業務のボランティアをしながら第2子を出産、3年後に帰国して第3子を出産致しました。現在までの約10年間は子育てと糖尿病・内分泌内科での研究および外勤先での診療に従事して参りました。臨床面から考えると大きなブランクでしたが、研究が好きですし子育て中のライフスタイルとして選択した道でした。一方で臨床医として患者さんと接する機会を増やしたいという思いがだんだん強くなり、2011年育児・介護復職者支援短時間勤務非常勤医員として糖尿病・内分泌内科の病院業務に携わる機会を頂きました。子育てをしながら病院で働くのは難しいかと思っていたのですが、時短という負担の少ない環境を与えて頂いて本当にありがたい制度だと感謝しております。私の場合は子供が小学校へ入学致しましたので1年で終了となりましたが、この経験をきっかけに病院の医療スタッフの一員として働きたいという思いを強く持つようになり、この度ブラッシュアップセンターと清野教授からお声かけ頂いた栄養管理部特命助教を本年4月より拝命致しました。諦めかけていた臨床医としての仕事に就くことができたのはブ

ラッシュアップセンターの様々なご支援とともに、心の支えとなっている女医ママ友達、帰宅が遅くなって家事ができなくても協力・応援してくれる主人と子供たち、周りでサポートして下さる皆様のお蔭です。本当に感謝しております。

糖尿病・内分泌内科から栄養管理部に異動して感じることは、これまでの臨床および研究の経験はかなり活かせるのではないかと思います。栄養管理部での重要な業務の中に電解質・内分泌代謝も含めた栄養面に問題のある入院患者さんに対してNEST (Nutrition Electrolyte & Endocrine Support Team) による栄養介入があります。各科の入院患者さんに適切な栄養管理を行うことによって治療効果の向上や合併症の減少、患者さんのQOL向上に寄与できる、とてもやりがいのある仕事です。患者さんの経過や治療内容、問題点を把握し、医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、歯科衛生士、調理師、事務等多職種からなるチームのメンバーが一丸となって栄養サポートを行います。私自身は微力ではございますが内分泌代謝・糖尿病・内科医、母としての経験を活かしながら各方面の専門家と各病棟のNESTリンクナースのお力をお借りしながら、少しでも皆様のお役に立てるように院内の栄養サポート体制を整えて参りたいと思います。まだまだ駆け出しでご迷惑をおかけすることもあるかと存じますがNESTをどうぞよろしくお願い申し上げます。

（2013年6月寄稿）

〔6/29〕ママナース会のご案内

今年度2回目となるママナース会が、6月29日（土）に開催されます。育児休業から復帰されたばかりの皆さん、まだ会に参加されたことのないママナースの皆さん、ご参加をお待ちしています！！なお、当病院勤務の看護師限定のため、詳細についてのお問い合わせ、お申し込みは当センターまでご連絡をお願いします。

6月29日(土)開催 参加受付中

また、当センターと神戸大学医学部附属病院 看護実践・教育開発センター（キャリアシステム・神戸REEDプラン）との共催により、看護師を対象としたキャリアカフェの実施も計画中です。先日、6月6日に第1回の打ち合わせを行いました。詳細が決まりましたら、ご案内いたします。

e-learning 配信中

当センターでは、e-learningとして研修医ミーティングや各種講義を録画配信しています。

当院内の医療端末からの閲覧には医療端末専用のアカウントが、院外（ご自宅等）での閲覧にはブラッシュアップパークへの登録が必要となります。

閲覧希望の方は、氏名・所属・連絡先（電話番号・PHS番号）・メールアドレスを明記の上、当センターまでご連絡ください。アカウントを発行いたします。

講義日から約半月後には、動画が配信できるよう編集を頑張っていますが、スタッフ2名という少人数で撮影・編集を行っているため、配信開始が遅くなることもございます。また、収録のない講義もございます。その点はご了承ください。